

## 2025年度 経営学部 アセスメント・プラン

AP (Admission Policy)		DP (Diploma Policy)		CP (Curriculum Policy)	
番号	内容	番号	内容	番号	内容
AP1	高校までの基礎学力を十分に有し、かつ自らの将来の夢と目標をしっかりと持っている人。	DP1-a*	経営・市場・企業にかかる経営分野の専門知識を体系的に修得していること。	CP1-a (初年次)	経営学部の学びに必要な学習技術の獲得とともに、卒業後の進路を見据えた大学での学修計画の策定に関する理解を深める「アカデミック・リテラシー」を1年次に履修必修として開講している。
AP2	総合的な知識に基づき、社会の出来事を理解し、客観的に分析できる人。	DP1-b**	会計・情報・心理にかかる経営分野の専門知識を体系的に修得していること。	CP1-b (初年次)	経営学分野の基本的な思考方法と基礎的知識とを学び、無理なく専門教育に移行できるよう「専門導入科目」を1年次に開講している。
AP3*	大学で修得した知識を実践の場で活用し、組織の創造性を高めたいと考えている人。	DP1-c***	経営・市場・企業・会計・情報・心理にかかる経営分野の専門知識を体系的に修得していること。	CP1-c (初年次)	高度情報化社会における基礎的能力を養成する「情報リテラシー」を1年次に履修必修として開講している。
AP4**	企業経営や商品の流通に関心を寄せ、組織のマネジメントやマーケティングのプロフェッショナルを志す人。	DP2	専門知識を実践に活かし、組織や集団の創造性を高めるマネジメント能力を身につけていること。	CP2-a (専門教育)	1年次の「専門導入科目」で修得した基礎的内容を理論的に理解し、経営分野への関心を醸成するとともに、基礎的・専門的知識の修得ができるよう「専門基幹科目」を2年次に開講している。
AP5***	大学で修得したいいろいろな知識を融合・応用し、組織の革新に挑みたいと考えている人。	DP3-a****	組織・マネジメントコースを選択した学生は、社会や組織の中の人間を理解し活かすマネジメント能力を身につけていること。	CP2-b (専門教育)	学生個々の興味・関心に基づき、自ら主体的に積極的に経営分野の専門知識を修得するため、専門導入科目および専門基幹科目で修得した専門知識をさらに掘り下げる「専門展開科目」を2年次以降に開講している。
AP6****	企業分析や企業における人間行動に関心を寄せ、情報、会計、心理のプロフェッショナルを志す人。	DP3-b****	戦略・マーケティングコースを選択した学生は、市場を理解、分析し、積極的に働きかけるマーケティング能力を身につけていること。また、企業の戦略を分析し、構築していくビジネス能力を身につけていること。	CP3 (演習)	問題発見能力の育成を図り、現実的諸問題の解決にあたり専門知識を創造的に適用できる実践力を育成するため「演習科目」を1部では2・3年次、2部では2・3・4年次に開講している。また、1部では、学習成果を論文としてまとめ上げる「卒業研究」を4年次に開講している。
AP7*****	職場での問題意識を持ち、解決を図ろうとする行動力のある社会人。	DP3-c**	会計・ファイナンスコースを選択した学生は、組織におけるマネジメントを会計的・財務的な視点から分析し、組織のイノベーションや戦略の策定に貢献する能力を身につけていること。また、会計に精通した企業人あるいは職業会計人に相応しい専門知識とそれを実践的に活用する能力を身につけていること。	CP4 (キャリア)	情報・会計・英語関連の資格取得に向けて学生の主体的・積極的な学修を促進する「資格取得科目」を1年次以降に開講している。
アセスメント指標	・入学者選抜結果 ・調査書記載事項 ・新入生アンケート ・「アカデミックリテラシー」単位修得状況 ・入学前教育取組状況（対象者のみ） ・新入生アンケート（自由記述） ・GPS-Academic (2025年度1年生・自由記述) 等	DP3-d**	情報・マネジメントコースを選択した学生は、高度情報ネットワーク社会をリードする専門知識と情報を実践的に活用する組織・戦略マネジメント能力を身につけていること。	CP5 (演習・キャリア)	実践的な学びを通じて学生のキャリアデザインをサポートする「北海経営CDP」として、1～3年次にかけて複数の科目を開講している。
実施・検証組織	・学部長 ・学部内教学マネジメント委員会 ・学部内入試制度委員会	DP3-e****	心理・人間行動コースを選択した学生は、個人・組織の心理的特性や行動メカニズムを理解し、組織・マネジメントや戦略・マーケティング等に活かす能力を身につけていること。	CP6 (コース制)	専門導入科目・専門基幹科目・専門展開科目における科目間の体系性・連動性に基づいて専門教育科目が学修できるよう、教育目標別に5つのコース（組織・マネジメントコース、戦略・マーケティングコース、会計・ファイナンスコース、情報・マネジメントコース、心理・人間行動コース）を設置している。
注) AP1 および AP2 は1・2部経営学科、1部経営情報学科共通項目、*1部経営学科のみ該当、**1部経営学科、2部経営学科のみ該当、***1部経営情報学科のみ該当、****1部経営情報学科、2部経営学科のみ該当、*****2部経営学科のみ該当	DP4*****	国際的コミュニケーション能力を身につけていること。	CP7-a* (国際的コミュニケーション:HBE")	英語の学びを担保するため「リーディング＆ライティング・ストラテジーA」と「コミュニケーション・ストラテジーA」を1年次に履修必修科目として開講している。	
アセスメント指標	DP5	幅広い視野と教養を身につけ、高い倫理観と責任感を持って、組織や社会の発展に貢献できること。	CP7-b* (国際的コミュニケーション:HBE")	国際的コミュニケーション能力を身につけるために、総合実践英語科目を1・2年次で開講している。また、総合実践英語科目で身に付けた英語基礎力を基にして、ビジネスを遂行するための実践的な英語力の獲得を目指す「ビジネス英語科目」を3年次に開講している。	
実施・検証組織	・GPA ・各科目履修状況 ・成績分布 ・単位修得状況 ・授業改善アンケート ・GPS-Academic ・4年生アンケート (2024年度卒業生分) ・海外総合実習報告書 等	アセスメント指標	<必要に応じて> ・卒業率 ・退学率 ・休学率 ・留年率（進級率） ・卒業論文提出率 ・資格試験合格率 等	CP7-c (国際的コミュニケーション:HBE")	英語の実践的な運用能力を養成するため、語学教育と専門教育とを融合し、海外での生活体験を通じて学ぶ実習科目「海外総合実習」を2年次に開講している。
注) DP2 および DP5 は1・2部経営学科・1部経営情報学科共通項目、*1部経営学科のみ該当、**1部経営情報学科のみ該当、***2部経営学科のみ該当、****1部経営情報学科、2部経営学科のみ該当、*****1部経営学科、1部経営情報学科のみ該当	DP2	・学部長 ・学部内教学マネジメント委員会 ・カリキュラム委員会	CP8 (一般教育)	幅広い視野と教養を身につけ、高い倫理観と責任感を持って、組織や社会の発展に貢献する力を養成するため一般教育科目、および、経営分野の学修に不可欠な経済学・法学・歴史学に関する基礎的知識を修得する「経済学・法学・歴史学科目」を開講している。	
※第1回将来構想委員会（2025.6.11）資料「2025年度 教育の質保証（学部学科レベルのアセスメントについて）」に基づいてアセスメントを行う。	アセスメント指標	アセスメント指標	実施・検証組織	アセスメント指標	DPと同様
※アセスメントの重点の置き方等に応じて、必要なもののみ利用する。	実施・検証組織	実施・検証組織	実施・検証組織	実施・検証組織	DPと同様
※アセスメントの実施に際して適切と考えるものであるならば、表に記載のない指標・データを利用してよい。					注) *1部経営学科、経営情報学科のみ該当、**多様性社会におけるコミュニケーション力を醸成することを目的とした経営学部独自の英語教育プログラム
※実際のアセスメントにおいては、必要に応じて各表に掲載されていない委員会も協力する。					
例) キャリア教育については、キャリア教育に関係する委員会がアセスメントすることが望ましい。					